



福井春山合同庁舎

クリアな光に大満足です。

—福井労働局様の節電に対する考え方、及び現状の取り組み状況を教えてください。

福井労働局では以前より地球温暖化対策に向けた取り組みを行って来ました。

まず、ソフト面対策では、夏期の 28℃、冬期の 19℃の空調設定温度の徹底及び来庁者に不便をおかけしない範囲での消灯、閉庁後の部分照明の徹底を図ってきました。次にハード面では、蛍光灯のインバーター化や自動調光、空調機器の省エネ化、庁舎窓ガラスの断熱フィルムの貼付けなどを行ってきました。

東日本大震災後は、電力需要の大きい事務室の照明の 25% を間引き、空調に関しては運転時間を短縮し、更なる電力消費を削減してきています。(北陸電力福井支店の協力を得て主要な電力消費を検証しています。)



—CCFL 導入に至った経緯を教えてください。

ソフト面での節電に限界を感じ始めた頃、更なる省エネ対策のため、照明の展示コーナーやイベント会場に向き検証を行い、本年度省エネ照明の導入を決めました。

当局が採用したのは、日本ガラストロンクスさんの CCFL 照明です。採用した理由は、節電効果と耐久性は他の省エネ照明と同等なこと、蛍光部の温度が低いこと、また、既存の灯具が使用できるため工期が短いこと、そして導入コストが少額で済むことです。

実際に使用した印象としましては、従来の蛍光灯照明と差がないこと、ムラがなくクリアな光であることです。来庁者の方は、照明を変更したことに、お気づきにならないと思います。



—CCFL 導入後の状況はいかがですか。

気になる節電効果ですが、昨年との比較では△20% 以上の効果があり、期待していた効果が出ています。

今年(平成 24 年)の夏には一層の節電が必要になると見込まれますので、計画的に無理・無駄のない省エネ対策に取り組んでいこうと考えております。

契約後に知りましたが、今回導入した CCFL 照明は震災後の福島県で製作されており、その収益の一部が被災地復興に寄与されている事も導入して良かったと思える点でした。

